

# 保育所版自己評価シート【内容評価基準】

## A-1 保育内容

全体的な計画の作成		評価結果	評価の着眼点(該当する場合は口)にチェック
(1) 全体的な計画の作成 ① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を作成している。 判断した理由・特記事項等 園内研修を充実させ保育所保育指針の読み解きを職員全員で行った。	a	ア	全体的な計画は、児童憲章、児童の権利に関する条約、児童福祉法、保育所保育指針などの趣旨をとらえて作成している。
		イ	全体的な計画は、保育所の理念、保育の方針や目標に基づいて作成している。
		ウ	全体的な計画は、子どもの発達過程、子どもと家庭の状況や保育時間、地域の実態などを考慮して作成している。
		エ	全体的な計画は、保育に関わる職員が参画して作成している。
		オ	全体的な計画は、定期的に評価を行い、次の作成に生かしている。
(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開 ① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。 判断した理由・特記事項等 ② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。 判断した理由・特記事項等 園内研修において「不適切保育」についてセルフチェックを行い注意喚起も行った。 ③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。 判断した理由・特記事項等	a	ア	室内の温度、湿度、換気、採光、音などの環境は、常に適切な状態に保持している。
		イ	保育所内外の設備・用具や寝具の衛生管理に努めている。
		ウ	家具や遊具の素材・配置等の工夫をしている。
		エ	一人ひとりの子どもが、くつろいだり、落ち着ける場所がある。
		オ	食事や睡眠のための心地よい生活空間を確保している。
		カ	手洗い場・トイレは、明るく清潔で、子どもが利用しやすい設備を整え、安全への工夫をしている。
		ア	子どもの発達と発達過程、家庭環境等から生じる一人ひとりの子どもの個人差を十分に把握し、尊重している。
		イ	子どもが安心して自分の気持ちを表現できるように配慮し、対応している。
		ウ	自分を表現する力が十分でない子どもの気持ちをくみとろうとしている。
		エ	子どもの欲求を受けとめ、子どもの気持ちにそって適切に対応している。
		オ	子どもに分かりやすい言葉づかいで、おだやかに話している。
		カ	せかず言葉や制止する言葉を不必要に用いないようにしている。
		ア	一人ひとりの子どもの発達に合わせて、生活に必要な基本的な生活習慣を身につけられるよう配慮している。
	イ	基本的な生活習慣の習得にあたっては、子どもが自分でやろうとする気持ちを尊重して援助を行っている。	
	ウ	基本的な生活習慣の習得にあたっては、強制することなく、一人ひとりの子どもの主体性を尊重している。	
	エ	一人ひとりの子どもの状態に応じて、活動と休息のバランスを保つように工夫している。	
	オ	基本的な生活習慣を身につけることの大切さについて、子どもが理解できるように働きかけている。	

④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	判断した理由・特記事項等	a	ア	子どもが自主的・自発的に生活と遊びができる環境を整備している。
			イ	子どもが自発性を発揮できるよう援助している。
			ウ	遊びの中で、進んで身体を動かすことができるよう援助している。
			エ	戸外で遊ぶ時間や環境を確保している。
			オ	生活と遊びを通して、友だちなど人間関係が育まれるよう援助している。
			カ	子どもたちが友だちと協同して活動できるよう援助している。
			キ	社会的ルールや態度を身につけていくよう配慮している。
			ク	身近な自然とふれあうことができるよう工夫している。
			ケ	地域の人たちに接する機会、社会体験を得る機会を設けている。
			コ	様々な表現活動が自由に体験できるよう工夫している。
			ア	0歳児が、長時間過ごすことに適した生活と遊び及び環境への工夫をしている。
			イ	0歳児が、安心して、保育士等と愛着関係(情緒の安定)が持てるよう配慮している。
			ウ	子どもの表情を大切に、応答的な関わりをしている。
			エ	0歳児が、興味と関心を持つことができる生活と遊びへの配慮している。
			オ	0歳児の発達過程に応じて、必要な保育を行っている。
			カ	0歳児の生活と遊びに配慮し、家庭との連携を密にしている。
			ア	一人ひとりの子どもの状況に応じ、子どもが自分でしようとする気持ちを尊重している。
			イ	探索活動が十分に行えるような環境を整備している。
			ウ	子どもが安心して遊びを中心とした自発的な活動ができるよう、保育士等が関わっている。
			エ	子どもの自我の育ちを受け止め、保育士等が適切な関わりをしている。
			オ	保育士等が、友だちとの関わりの仲立ちをしている。
			カ	様々な年齢の子どもや、保育士以外の大人との関わりを図っている。
			キ	一人ひとりの子どもの状況に応じ、家庭と連携した取組や配慮をしている。
			ア	3歳児の保育に関して、集団の中で安定しながら、遊びを中心とした興味関心のある活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。
			イ	4歳児の保育に関して、集団の中で自分の力を発揮しながら、友だちとともに楽しみながら遊びや活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。
			ウ	5歳児の保育に関して、集団の中で一人ひとりの子どもの個性が活かされ、友だちと協力して一つのことをやり遂げるといった遊びや活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。
			エ	子どもの育ちや取り組んできた協同的な活動等について、保護者や地域・就学先の小学校等に伝える工夫や配慮している。
			ア	3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開できるような適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。
			イ	子ども達が自ら学んでいけるよう室内にサークルを設置した。
			ウ	子ども達がよく見られこれこれ私たちが目指す保育であるというこのことの確信が持てた。子ども達と職員に感謝する。
			エ	

⑧ 障がいのある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。					ア	建物・設備など、障がいに応じた環境整備に配慮している。
判断した理由・特記事項等	a				イ	障がいのある子どもたちの状況に配慮した個別の指導計画を作成し、クラス等の指導計画と関連づけている。
					ウ	計画に基づき、子どもたちの状況と成長に応じた保育を行っている。
					エ	子ども同士の関わりで配慮し、共に成長できるようにしている。
					オ	保護者との連携を密にして、保育所での生活に配慮している。
一人ひとりの特性に配慮した保育を展開することが今後の課題である。					カ	必要に応じて、医療機関や専門機関から相談や助言を受けている。
					キ	職員は、障がいのある子どもたちの保育について研修等により必要な知識や情報を得ている。
					ク	保育所の保護者に、障がいのある子どもたちの保育に関する適切な情報を伝えるための取組を行っている。
⑨ それぞれの子どもたちの在園時間を考慮した環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a				ア	1日の生活を見通して、その連続性に配慮し、子ども主体の計画性をもった取組となっている。
判断した理由・特記事項等					イ	家庭的でゆったりと過ごすことができ環境を整えている。
					ウ	子どもたちの状況に応じて、おだやかに過ごせるよう配慮している。
					エ	年齢の異なる子どもたちが一緒に過ごすことに配慮している。
					オ	子どもたちの在園時間や生活リズムに配慮した食事・おやつ等の提供を行っている。
					カ	子どもたちの状況について、保育士間の引継ぎを適切に行っている。
					キ	担当の保育士と保護者との連携が十分にとれるように配慮している。
⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づき、保育の内容や方法、保護者との関わりを配慮している。	a				ア	計画の中に小学校との連携や就学に関連する事項を記載し、それに基づいた保育を行っている。
判断した理由・特記事項等					イ	子どもが、小学校以降の生活について見通しを持てる機会を設けている。
					ウ	保護者が、小学校以降の子どもたちの生活について見通しを持てる機会を設けている。
					エ	保育士等と小学校教員との意見交換、合同研修を行うなど、就学に向けた小学校との連携を図っている。
					オ	施設長の責任のもとに関係する職員が参画し、保育所児童保育要録を作成している。
(3) 健康管理	評価結果					評価の着眼点(該当する場合は口に出エツク)
① 子どもの健康管理を適切に行っている。	a				ア	子どもの健康管理に関するマニュアルがあり、それに基づき一人ひとりの子どもの心身の健康状態を把握している。
判断した理由・特記事項等					イ	子どもの体調悪化・けがなどについては、保護者に伝えるとともに、事後の確認をしている。
					ウ	子どもの保健に関する計画を作成している。
					エ	一人ひとりの子どもの健康状態に関する情報を、関係職員に周知・共有している。
					オ	既往症や予防接種の状況など、保護者から子どもたちの健康に関わる必要な情報を常に得られるように努めている。
					カ	保護者に対し、保育所の子どもたちの健康に関する方針や取組を伝えている。

<input checked="" type="checkbox"/>	キ	職員に乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する知識を周知し、必要な取組を行っている。
<input checked="" type="checkbox"/>	ク	保護者に対し、乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する必要な情報提供をしている。
<input checked="" type="checkbox"/>	ア	健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。
<input checked="" type="checkbox"/>	イ	健康診断・歯科健診の結果を保健に反映する計画等に反映し、保育を行っている。
<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	家庭での生活に生かされ、保育に有効に反映するよう、健康診断・歯科健診の結果を保護者に伝えている。
<input checked="" type="checkbox"/>	ア	アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもに対して、「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」をもとに、子どもの状況に応じた適切な対応を行っている。
<input checked="" type="checkbox"/>	イ	慢性疾患等のある子どもに対して、医師の指示のもと、子どもの状況に応じた適切な対応を行っている。
<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	保護者との連携を密にして、保育所での生活に配慮している。
<input checked="" type="checkbox"/>	エ	食事の提供等において、他の子どもたちの相違に配慮している。
<input checked="" type="checkbox"/>	オ	職員は、アレルギー疾患、慢性疾患等について研修等により必要な知識・情報を得たり、技術を習得している。
<input checked="" type="checkbox"/>	カ	他の子どもや保護者にアレルギー疾患、慢性疾患等についての理解を図るための取組を行っている。
評価の着眼点(該当する場合は口にてチェック)		
<input checked="" type="checkbox"/>	ア	食に関する豊かな経験ができるよう、保育の計画に位置づけ取組を行っている。
<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれる環境・雰囲気づくりの工夫をしている。
<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもの発達に合わせた食事の援助を適切に行っている。
<input checked="" type="checkbox"/>	エ	食器の材質や形などに配慮している。
<input checked="" type="checkbox"/>	オ	個人差や食欲に応じて、量を加減できるように工夫している。
<input checked="" type="checkbox"/>	カ	食べたいもの、食べられるものが少なくなるよう援助している。
<input checked="" type="checkbox"/>	キ	子どもが、食について関心を深めるための取組を行っている。
<input checked="" type="checkbox"/>	ク	子どもの食生活や食育に関する取組について、家庭と連携している。
<input checked="" type="checkbox"/>	ア	一人ひとりの子どもの発達状況や体調等を考慮した、献立・調理の工夫をしている。
<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもの食べる量や好き嫌いなどを把握している。
<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	残食の調査記録や検査簿をまとめ、献立・調理の工夫に反映している。
<input checked="" type="checkbox"/>	エ	季節感のある献立となるよう配慮している。
<input checked="" type="checkbox"/>	オ	地域の食文化や行事食などを取り入れている。
<input checked="" type="checkbox"/>	カ	調理員・栄養士等が、食事の様子を見たり、子どもたちの話を聞いたりする機会を設けている。
<input checked="" type="checkbox"/>	キ	衛生管理の体制を確立し、マニュアルにもとづき衛生管理を適切に行っている。
(4) 食事		
<input checked="" type="checkbox"/>	ア	食事を楽しむことができるよう工夫をしている。
<input checked="" type="checkbox"/>	イ	判断した理由・特記事項等
<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	調理場職員も子どもも違と関わる職員の内という認識で、園内研修等にも引き継ぎ参加してもらい、共に保育所保育指針等で学ぶことが出来た。
<input checked="" type="checkbox"/>	ア	子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。
<input checked="" type="checkbox"/>	イ	判断した理由・特記事項等

A-2 子育て支援

評定の着眼点(該当する場合は口(口)にチェック)		評価結果	
(1) 家庭との緊密な連携		評価結果	
① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	ア	<input checked="" type="checkbox"/>	a
判断した理由・特記事項等	イ	<input checked="" type="checkbox"/>	
	ウ	<input checked="" type="checkbox"/>	
	エ	<input checked="" type="checkbox"/>	
(2) 保護者等の支援		評価結果	
① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	ア	<input checked="" type="checkbox"/>	a
判断した理由・特記事項等	イ	<input checked="" type="checkbox"/>	
	ウ	<input checked="" type="checkbox"/>	
	エ	<input checked="" type="checkbox"/>	
	オ	<input checked="" type="checkbox"/>	
	カ	<input checked="" type="checkbox"/>	
② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	ア	<input checked="" type="checkbox"/>	a
判断した理由・特記事項等	イ	<input checked="" type="checkbox"/>	
	ウ	<input checked="" type="checkbox"/>	
	エ	<input checked="" type="checkbox"/>	
	オ	<input checked="" type="checkbox"/>	
	カ	<input checked="" type="checkbox"/>	
	キ	<input checked="" type="checkbox"/>	

A-3 保育の質の向上

(1) 保育実践の振り返り(保育士等の自己評価)		評価結果		評価の着眼点(該当する場合は口チェック)	
① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	ア	イ	ウ	エ	オ
判断した理由・特記事項等	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
法人の保育理念や保育目標等まだまだ共有出来ていない部分もあるので時間をかけて理解し合いたいと思う。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>